

NURUCON[®] C

ローラー施工タイプ **コンクリート化粧剤** 一般用ヌルコン



本マニュアルの対象商品

施 工 マ ニ ュ ア ル (Ver. **5.05**)

※最新のマニュアルは WEB にて要確認

こちらのマニュアルは、ホームセンター様・EC サイト等で購入できる**一般向け NURUCON** 用のマニュアルになります。マニュアルは随時更新されます。パンフレット・ラベル等の記載と差異がある

場合は、このマニュアルに記載された事項を優先してください。

業務施工を行う場合は必ず「業務施工マニュアル」をご確認ください。

タイハクマテリアルズ株式会社

宮城県黒川郡大和町鶴巣太平字真山 8
TEL 022-343-3766 FAX 022-343-6375
<https://taihaku-materials.co.jp/>
<https://nurucon.jp/>

NURUCON お問い合わせメール
info@nurucon.jp

1. はじめに

1.1 商品の目的

NURUCON はコンクリートの美観向上に特化した商品であり、新設コンクリートの仕上がり美観の均一化のみならず、古くなったコンクリートの美観回復にもご使用になれます。コンクリートの補修・補強目的の商品は数多く存在しますが、NURUCON は美観に的を絞った**コンクリート用「化粧剤」**です。

自宅のコンクリートを「自分で」「手軽に」「格安で」綺麗にしたい！という場合にお勧めです。耐久性を考慮した施工を検討の場合は、「業務施工マニュアル」もご確認ください。（本マニュアルは一般向け施工マニュアルです）

NURUCON は**進化し続けます**。**情報は随時アップデートされますので、定期的に nurucon.jp の確認をお願いいたします。**

1.2 商品のお問い合わせ・販売・運搬・取り扱いに関して

商品の取扱い及び技術的な問い合わせはメールにてご連絡ください（ info@nurucon.jp ）

NURUCON は液体化粧剤の為「空輸」出来ませんのでご注意ください。

NURUCON は屋外に保管しないでください。凍らせると使用できなくなります。

NURUCON は、運搬時の振動により溶液の上部に「アク」が出来る場合があります。

アクは粘性が強い為、容器開封時にアクが浮かんでいた場合は除去してください。

※ NURUCON は開封前に良く混ぜてください。下部に**沈殿物**があります。

「色が付かない」「薄い」という問題は、開封前及び使用中にしっかりかき混ぜない事が原因になります。

2. 注意事項

2.1 重要確認事項

重要ポイント

NURUCON は、**コンクリート構造物の美観向上の為の「化粧目的」**用の製品であり、定期的に塗り直す事を想定した商品になります。複数の塗り材をご使用になる場合は、化粧仕上げ材としてご使用ください。

下地が健全な壁コンクリートやブロック塀などに塗った場合は剥離しにくいですが、土間や犬走コンクリートのような「均し面」に塗った場合、下地コンクリート自体が簡単に表層剥離を起こし、NURUCON も一緒に剥がれますのでご注意ください。剥離が発生した場合は、再度施工（化粧直し）を行ってください。

繰り返し施工を行わない場合（行う予定が無い場合）は、壁面コンクリートのみにご使用ください。

剥離リスクを受け入れられない場合、NURUCON はご使用になれません。

2.2 施工マニュアル及び SDS

最新の施工マニュアル及び SDS は弊社営業もしくは弊社 WEB サイトよりご請求ください。



2.3 使用上の注意事項

※ 取扱い時は保護メガネ(ゴーグル)を必ず着用する事 ※

※ マスクを着用し、霧状態の溶液を吸い込まない事 ※

NURUCON はコンクリートと同じアルカリ性の溶液になりますので、取り扱うときは必ず保護具を着用し、何らかの身体的異常が現れた場合はすぐに専門医の診察を受けてください。

その他詳細は SDS をご確認ください。

2.4 使用箇所の限定

大型車両及び重機が通り強い摩擦がかかる箇所、水がかかる箇所や水密性が要求される水槽など、水の作用を受ける箇所、剥離剥落等の危険性があるコンクリートにNURUCONは使用できません。

主要構造物、重要構造物に使用する場合は、必ず建築士等の方に確認を取ってください。

劣化または変状が発生しているコンクリートにおいて、第三者に影響を与える可能性が考えられる場合は、必ず専門の技術者又は調査機関にコンクリートの現況調査の依頼を行い、専門家の指示のもと NURUCON 施工を行ってください。NURUCON 施工を行うと新設同様の美観になるため、変状箇所を見逃す危険性があります。

2.4 廃棄方法

※ 下水や河川等に流さないでください。正しく処理をお願いいたします ※

産業廃棄物として処理を行ってください。

3. 種類

現在販売されている NURUCON は以下になり、業務用 NURUCON B は外部試験所により試験を行っております。一般向け商品は試験及び合否判定は公表されません。

JAN コード	品名
一般用 NURUCON C	
4573568270049	NURUCON 2L ホワイト
4573568270025	NURUCON 2L グレー
4573568270056	NURUCON 15L 高濃度 ホワイト
4573568270032	NURUCON 15L 高濃度 グレー
4573568270148	NURUCON 2L ブラック
4573568270155	NURUCON 2L サンド
4573568270162	NURUCON 2L ブリック
4573568270179	NURUCON 15L 高濃度 ブラック
4573568270186	NURUCON 15L 高濃度 サンド
4573568270193	NURUCON 15L 高濃度 ブリック
業務用 NURUCON B	
4573568270285	NURUCON 15kg 業務用

4. 施工マニュアルの注意事項

一般向けヌルコン(NURUCON C)は、個人の方や民間工事業者向け製品になります。

NURUCON の施工が初めてでも自然な風合いや自然な色ムラが再現できます。

溶液は分離しやすいように製造されているのが特徴であり、作業前、作業中は定期的に溶液をかき混ぜる必要があります。(本マニュアルはこちらのマニュアルになります。)

業務用ヌルコン(NURUCON B)は、業務施工を行う場合や試験規格に対応できる商品が必要な場合にお使いください。溶液は分離しにくく色が付きやすい為、均一に仕上げる事が可能です。公共工事や土木構造物、防火材料指定箇所やF★★★★指定箇所などへの使用を想定しております。NURUCON Bは「不燃材」として国交省の認定・登録を受けています。

業者の方が施工を行う場合は、必ず「業務施工マニュアル」もご確認ください。

5. 施工前の確認事項

5.1 コンクリートと塗り材の相性問題

重要ポイント

ペンキや NURUCON の様に、コンクリートに塗ることが出来る「塗り材」は、コンクリートとの相性が非常に重要になります。**相性が悪い箇所は剥離しやすいのでご注意ください。**

打設箇所	塗り材との相性	塗り材の剥離リスク 及び 剥離防止の為に施工難易度	NURUCON 剥離までの推定年数
土間コンクリート(コテ仕上げ)	★★	非常に高い	不明 (施工方法・環境・使用条件により大きく変動)
土間コンクリート(ほうき引き仕上げ)	★★★	高い	
ブロック塀(BC コンクリート)	★★★★	低い	推定 5 年以上※
コンクリート壁	★★★★★	低い	推定 5 年以上※

※ 土間コンクリートや犬走コンクリートは非常に剥がれやすい箇所になります。剥離が起こったら、化粧直し(再施工)が必要になります。NURUCON はコンクリート用の化粧剤です。

※ 剥離発生確率を下げたい場合、又は、業務施工を行う場合は、必ず「業務施工マニュアル」をご確認ください。

5.2 カラーNURUCON の注意点

ホワイト色及びグレー色の NURUCON は、もし剥離が起こっても下地コンクリートと色が似ている為、目立ちにくいというメリットがあります。それに対しカラーNURUCON は色の差が大きくなる為、NURUCON の剥離が発生した場合は目立ちやすいというデメリットがあります。

土間コンクリートの様に「摩擦がかかる箇所」に塗られた塗り材は、いずれ下地コンクリート表層と一緒に塗り材は剥離しますので、ご注意ください。

6. 施工前の準備

6.1 コンクリートの洗浄

コンクリート表面は色々な汚れがこびりついております。例えばコケやカビ、劣化したセメント成分、削れたタイヤ、泥など、ありとあらゆる汚れが付着しております。特に、駐車場土間や犬走コンクリートは顕著です。これらの汚れを残したまま NURUCON を塗ると、汚れに NURUCON が付着してしまう為、付着強度は極端に低下し、剥離しやすくなります。

コンクリート表面の洗浄は、高圧洗浄機の使用が効果的です。**ノズルをコンクリート表面に近づけて、可能な限り汚れや脆弱な物質を除去してください。**

高圧洗浄機が無い場合は、金ブラシで擦り洗いを実施してください。

なお、NURUCON 施工面に高圧洗浄機を使用すると、剥がれる可能性がありますのでご注意ください。

洗剤を使用する場合は、家庭用台所洗剤(界面活性剤)をご使用ください。

洗浄後はしっかり乾燥させてください。

水はけが悪い地盤の土間コンクリートの場合は、乾燥時間を長めにとってください。

6.2 コンクリートの補修

ひび割れ、カケ等がある場合は、セメント系の補修材で補修してください。補修後はメーカーが指定する期間養生してください。なお、弾力性がある充填材料(シリコン等)には NURUCON は付着しませんのでご注意ください。特にひび割れ部の漏水箇所にて白華現象が発生している場合は、事前に必ず析出物質の除去とひび割れ補修を行ってください。NURUCON はひび割れからの漏水を止める能力はありません。ひび割れ模様に見える箇所は、NURUCON を3回程度以上塗ることにより目立たなくなりますが、**開いたひび割れは埋めることはできません**のでセメント系の補修材で補修してください。なお、体積(面積)が大きいコンクリートは、ひび割れが発生することが多いので、新しいコンクリートに NURUCON 施工を行う場合は、安定してから行うことをお勧めします。

自社商品:NURUCONパテ(無収縮ポリマーセメントモルタル)

6.3 コンクリートの補強

駐車場土間コンクリートの様に、地面に対して平行になる面は職人の方がコテで均す(ならす)ため、均し面と呼ばれています。この均し面は生コンクリートの性質上、他の面と比べて非常に弱くなりやすく、ちょっとした力で削れるぐらい弱い場合もあります。

そのように弱くなった箇所に塗り材を塗ると、簡単に下地と一緒に剥離する可能性があります。

よって、「6.1 コンクリートの洗浄」にて記載したように、高圧洗浄機等で弱い部分を水の力で除去する事が非常に重要になります。また、コンクリートは水がかかると劣化が進行する為、下地コンクリートの劣化を遅らせる効果が期待できるシーラーの施工もお勧めです。

自社商品：NURUCON純正シーラー(水性アクリル系 2 液タイプエポキシ)

土間コンクリート・犬走コンクリートの場合は、シーラーの施工を強くお勧め致します。

一般の市販品を使用になる場合は、水性シーラーは使用しないでください。

シーラーの種類	相性
コンクリート用「水性」シーラー	×
コンクリート用「油性」シーラー	△
NURUCON 純正シーラー	◎

6.4 溶液が周辺を汚してしまわないように（養生作業）

NURUCON 施工前に、必ず周辺の養生を行ってください。NURUCON は乾燥すると簡単には取れなくなるため、事前に周辺をしっかりと養生する事が非常に大切です。特に以下は必ず養生を行ってください。

- ・住宅備品類 門柱、壁、ガラス等に付かないようにしっかり養生を行ってください。
- ・車 車体の塗料にも強力に付着します
- ・石材 コンクリートよりも強力に付着します
- ・アスファルト 付着すると非常に目立ちます

「マスキングテープ」や「養生テープ」をご使用ください。

6.5 剥離方法

付けたくない箇所についてしまった場合は、即座にふき取ってください。時間が経過すると簡単には取れなくなります。完全に乾燥してしまった場合は、スクレイパー、カップブラシ、高圧洗浄機等で除去してください。

6.6 保護具の着用

NURUCON はコンクリートと同じアルカリ性の為、眼に入ると重大な問題が発生する可能性があります。NURUCON を取り扱うときは保護具(保護メガネ・保護手袋等)を必ず着用してください。

6.7 テスト施工の重要性

最 重 要 事 項

重要ポイント

ヌルコンは特徴がある塗材です。本施工の前に必ず施工予定箇所の一部でテスト施工を行い、使用量・仕上がり具合・品質・性能等を確認し、納得の上で本施工を行ってください。

正しい施工手順で施工された NURUCON は強力に付着するため除去することが難しくなります。

土間コンクリート等の均し面に塗る場合は、剥離が発生する前提で施工を行ってください。均し面に塗られた塗材の剥離リスクを0%にすることは不可能です。剥離リスクを避けたい場合は、NURUCONはご利用いただけません。

7. 施工の基本

7.1 施工時期および条件

施工推奨時期	春～秋 気温が 5℃を下回らない時期	冬季期間は可能な限り施工を行わないこと。行う場合は、施工場所を囲い、ヒーターなどで養生を行うこと。
天 気	施工中及び施工後2日以上雨が降らない日を選定	万が一施工中に雨が降った場合は作業を中断し、施工箇所をシート等で覆うこと。

7.2 NURUCON の使用量の算出

製品	標準使用量		備考
一般用 NURUCON C 15 L	3 回塗り (1)純正シーラー施工済みの場合 約80㎡程度/1 缶 (2)純正シーラー施工無しの場合 約40㎡程度/1 缶		下地コンクリート表層状態により、施工面積は大きく変動致します。(ひびわれの有無、仕上げ方法、劣化状態 等) 正確な使用量の算出は、現地コンクリートにて 1 ㎡程度のテスト施工を行って確認してください。
業務用 NURUCON B 15 kg	使用制限あり (内装制限等)	0.15～0.20kg/㎡	左記の量を 1 回または 2 回に分けて塗る。左記の量で仕上げる事が出来ない箇所には使用不可
	上記以外	2 回塗りを基準とし、テスト施工の結果を元に使用量を算出する	目標使用量は 0.2 kg/㎡ 下地コンクリートの表面に凹凸が多い場合や、未洗浄、シーラー未施工の場合は使用量が特に多くなる

7.3 NURUCON パテによる補修

無収縮ポリマーセメントモルタルである NURUCON パテは、ひび割れやかかけの補修に最適です。水道水と混ぜるだけで本格的なひび割れ補修材になります。主成分はセメントであり、強アルカリ性の性質になりますので、使用時は保護具等(メガネ・手袋・マスク等)を必ず着用してください。

補修材と水の割合(水結合材比)

22～28% コテ塗り用モルタル配合 28～32% 流し込みモルタル用配合

練り例

補修材	水	
74	26	コテ塗り用モルタル 配合
70	30	流し込みモルタル 配合

補修材 74g 水 26g 練り上がり量 100g コテ塗り

補修材 70g 水 30g 練り上がり量 100g 流し込み

セメント系補修材の為、施工後は 72 時間以上の養生期間が必要になります。NURUCON 施工の 3 日以上前には補修を完了させてください。

7.4 シーラーの使用に関して

コンクリートは色々な要因で劣化が進行します。特に雨が当たる箇所や、凍結融解が繰り返される箇所はコンクリート自体の劣化進行が速く、表層面が剥がれ落ちてしまう事が多くあります。身近なコンクリートで「石」がむき出しになったコンクリートを見た事はないでしょうか？これはスケーリングやポップアウトという現象で、コンクリート表層が剥離してしまったものです。補強型シーラーを塗る事により、コンクリート表面を補強する事が可能になります。

市販の「コンクリート用油性シーラー」を使用する場合は、以下にご注意ください。

- ・塗布量や塗布方法等は、容器(説明書)に記載された事項をお守りください
- ・容器にメーカーの乾燥時間が記載されておりますが、**必ず 12 時間以上乾燥させてください。**

NURUCON は水性の為、油性タイプのシーラーが完全に乾く前に NURUCON を塗ってしまうと、付着力が低下する可能性がありますので、**必ず 12 時間以上の乾燥時間を取ってください。**

シーラー施工面の上を歩く場合(土間の場合)は、裏側が綺麗な靴に履き替えてください。

コンクリート用油性シーラーのメリットは、乾燥後にその上を歩くことが出来るので、周りから施工する余裕が無い場合でも、シーラー施工面の上に乗って作業が出来る点になります。

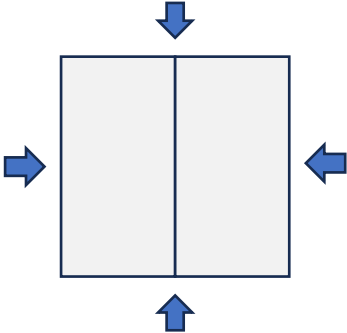
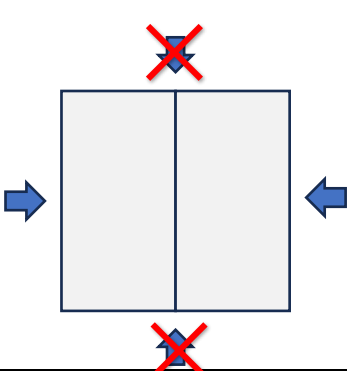
デメリットは乾燥するまでの間、油性タイプ特有の匂いがする事と、NURUCON 純正シーラーと比べて補強効果が弱いという点があります。

土間コンクリート表面の劣化が激しい場合や、長期的耐久性をご希望の場合は、NURUCON 純正シーラーをご使用ください。

NURUCON 純正シーラーを使用する場合は、以下の方法で行ってください。

※ 施工は 5℃以上の時に行ってください。5℃以下の場合は温度対策を検討してください。

※ NURUCON 純正シーラーを塗布した箇所は、NURUCON を塗るまでその上を歩くことが出来ません。よって、土間コンクリートの場合は、以下の様にまわりから施工できない場合は、作業を区切って実施してください。（どうしても上を歩く必要がある場合は、必ず塗ってから 12 時間以上乾燥させ、靴の裏側に養生テープなど、付着しにくいものを貼って歩いてください。）

	土間において、周りからローラーが届いて全部を塗れる場合は特に問題は無し。
	このように施工上制約があり、周りからローラー施工が出来ない場合は、例えば、左側を完全に仕上げてから右側を仕上げるような施工方法になります。

- ・2 液タイプになります。**質量比で 主剤2：硬化剤1 の割合で混合**してください。
- ・標準使用量は、0.15～0.20kg/㎡です。
- ・混合を行ったらローラーを使用して NURUCON 施工予定箇所に塗っていきます。

商品名	自然乾燥時間	備考
NURUCON 純正シーラー	12 時間	しっかり乾くと、ベトツキ感が消えます。触った時にベトベト感がある場合はまだ乾燥していません。
市販コンクリート用油性シーラー		メーカー指定は2～3時間となっておりますが、原則 12 時間自然乾燥させてください。乾燥の目安は、臭いが弱くなり、表面のベトツキ感が消えた状態です。

シーラーは送風機などを使用して強制乾燥を行うことが可能です。施主様の歩行通路を確保する必要がある場合は、送風機やドライヤー等を使用して歩行通路を優先的に仕上げてください。

12 時間乾燥後、表面が汚れているように見えた場合は、軽く濡らしたモップ等で全面を拭いてください。足跡等の汚れを残したまま NURUCON を塗ってしまうと、付着力が低下する可能性があります。

7.5 NURUCON の基本塗布方法

【土間面の施工】

【注意事項】 15L 容器ラベルに「1 層目は希釈して塗る」と記載されておりますが、希釈せず塗る事が可能です。希釈は主に、仕上げの時に少しずつ色を付けたいときに行ってください。

使用する塗装ローラーの指定はありません。大き目のローラーをご使用ください。

1 層目は厚く塗るイメージで塗ってください。厚く塗るイメージとは、ローラーに力を入れて地面に押し付けて溶液を引っ張る塗り方ではなく、ローラーを転がすときにあまり力を入れずに塗る方法です。

1 層目を塗ってそのまま完全に乾燥させると、色むらが強く出る可能性がありますので、半乾きになった状態で、全面をならす(グレーの場合は黒の顔料をちらす)作業が必要になります。土間の場合は 1 層目を塗り終わったら、施工面をよく確認してください。部分的に NURUCON が溜まっている箇所があると思います。溜まっている箇所はまだ乾燥しておらず、溜まっていない箇所は乾燥しているように見える状態を「**半乾き**」と定義いたします。(施工後、20℃以上の場合は約 10 分後、20℃未満は約 30～60分後)

1 層目の定義	上記のような半乾き状態になった時に、ローラーに新たに溶液を付けずに施工面を転がした場合は 1 層目施工と考えます。 半乾きの状態の時に、ローラーに力を入れて転がすと、くっつき始めた NURUCON が取れてしまう可能性があります。よって ローラーは力を入れずに軽く転がすようにしてください。
---------	--

ムラを消すように、全面的にローラーを転がしてください。一定方向にのみローラーを転がすと、ローラー跡が出やすい為、**ローラーをランダム方向に転がす作業も**行ってください。

上記作業を行って表面がほどよく均一に仕上がったら、**3 時間以上乾燥**させます。

(水分が蒸発してから 3 時間)

NURUCONは必ず 2 層以上塗る必要があります。1 層で塗るのをやめると、塗る前よりも美観は低下しますのでご注意ください。

2 層目以降は普通に塗っていきます。

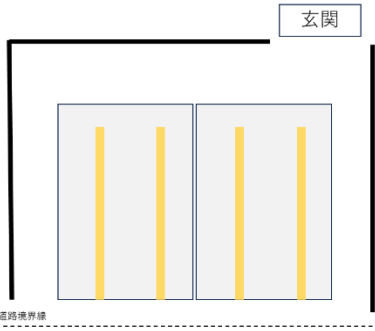
2 層目以降の乾燥時間は**1～2時間以上**です。(水分が蒸発してから1～2時間)

NURUCONは施工経験が無くても塗る回数を増やせば綺麗に仕上げる事が可能です。

初めての場合は、3 回塗る事をお勧め致します。

※ 塗り方のコツ

- ・ローラーはあまり力を入れず転がして塗っていくのがポイント。
- ・塗り方向は一方向のみではなく、ランダムな方向もまぜると、仕上がりがより本物に近くなります。
- ・ローラー跡が直線にならないように注意します。一般的に、コンクリート表面に「直線状」の模様は発生しません。よって直線状のローラー跡が残ると、コンクリートに詳しい方が見ると違和感を覚えます。よって、なるべく直線状(又は規則性)がある模様が出ないように塗ることを意識します。

	駐車場土間コンクリートにおいて、剥離リスクが特に高いのは、黄色の線が引かれた箇所になります。 この箇所は NURUCON が薄くならないように注意して塗ってください。 ※ 摩擦剥離注意箇所：タイヤ駐車真下、タイヤ動線 等 下地表面の凹凸が少ない場合、ゴムが柔い新品タイヤやスタッドレスタイヤ等で停車すると、吸盤のような付着力が発生し、剥離するリスクがあります。(特に施工初期)
---	---

【カベ面の施工】

カベ面に NURUCON を塗ると、溶液が下に多くこぼれます。そのまま乾燥させると、あとから除去する事が非常に難しくなるので、事前の養生はしっかり行ってください。

また、カベ面は溶液が顔にかかりやすくなりますので、必ず保護具(メガネ等)の着用を行ってください。

カベ面は、全層を薄く塗ってください。厚く塗ろうとすると、溶液は下にダレます。ローラーに力を入れて塗ると、溶液が周囲に飛び散りますので、ローラーを転がすときはあまり力を入れずに塗ってください。一度に塗れる量は土間の場合よりも減りますので、その分塗り回数を増やしてください。

カベ面において、脆弱になりやすい箇所は天端部付近になります。(現場打ちの場合のみ。二次製品は除く)



現場打ちされたコンクリートにおいて、打ち継ぎを行わず 1 発で打設・仕上げを行ったカベコンクリートの場合、上記図の赤枠で囲った「**天端部及びその付近**」はコンクリートが脆弱に仕上がりやすい箇所になります。劣化進行も早く進む可能性が高い為、**この箇所は清掃・補修・補強・NURUCON 施工は慎重に行ってください。**

雨でコンクリートの変色が起きている場合、緻密性が低下しているように見える場合など、劣化が進行していると考えられる場合は、NURUCON 純正シーラーを塗る事により、NURUCON の付着をより長持ちさせることが可能になります。

その他の施工方法は、「土間面の施工」と同じになります。

7.6 養生期間の基本

・NURUCON が完全に乾燥し最大付着強度に達するには、14日程度の日数が必要になります。

試験等を行う場合は、施工完了から14日以上経ってから行ってください。

・施主の方が家に入る為に通路を確保する場合は、2～3 時間乾燥後に養生シート等を敷いてください。
(養生シートを除去後、部分的に汚れている可能性があります。その場合は部分補修をしてください)

・原則、NURUCON の乾燥時間は 2 日間以上になりますが、現在は以下の期間を推奨しております。

推奨養生期間	2 日以上 ・壁コンクリート、ブロック塀 7日間以上 ・土間コンクリート(コテ仕上げ) ・土間コンクリート(ほうき引き仕上げ) ・その他、均し面のコンクリート
注意事項	養生期間中に施工箇所を「歩く」場合または「車両が走行・駐車」する場合は、コンパネやシート等にて施工面を保護してください。コンパネやシート等の保護材撤去後、部分的にNURUCON が汚れている箇所がある場合、9の「部分補修方法」を参考に補修を行ってください。なお、養生後すぐに行う部分補修時は、シーラー施工は不要です。

8. 再施工(追加施工)及び施工後のメンテナンス

8.1 正しい施工手順で施工を行っており、前の NURUCON 施工から **2 週間以内**の場合の再施工

施工面に汚れがついている場合は、濡れたタオル等で拭きとるか、散水しながらブラシでこすり取ってください。高圧洗浄機を使用すると剥がれる可能性があります。

NURUCON を通常の塗り方で塗っていきます。部分補修の場合は、刷毛やローラーなどで境目(刷毛跡やローラー跡)が出ないように意識して塗ってください。

8.2 正しい施工手順で施工を行っており、前の NURUCON 施工から **2 週間以上**経っている場合の再施工

施工面を水洗いしてください。NURUCON の剥離が見られない場合又は NURUCON が 95%以上残っている場合は、以後は 8.1 の方法で施工を行ってください。

NURUCON 施工から年月が経っており、自然剥離が見られる場合は、すべて最初から施工を行ってください。

8.3 施工後のお手入れ

施工より 2 週間経過後は施工面を水洗いする事が可能になります。タイヤ汚れや泥汚れなどは、散水ホースにて水をまきながらプラスチック製のデッキブラシ等で洗ってください。洗浄に高圧洗浄機を使用した場合、少しずつ薄くなるように剥がれてきますのでご注意ください。

8.4 トップコートの施工に関して

水性塗料の仕上げに塗れるタイプのトップコート(クリア色の塗料)は、NURUCON の上に施工可能です。壁コンクリートに NURUCON 施工した場合、トップコートを塗る事により NURUCON の風合いを長持ちさせることが可能になります。
なお、滑りやすくなる可能性がある為、コンクリート表面が凹凸の箇所のみ施工してください。
※ 現在、トップコートのメーカー推奨品は設定しておりません。テスト施工により決定してください。

9. 摩擦剥離の対処方法

9.1 摩擦により部分剥離が発生した場合

駐車場土間コンクリートのような均し面において、コンクリート表層がコテ仕上げの場合、乾燥期間を置いても車のタイヤが走る箇所が剥離する可能性があります。
これは以下の条件が重なると発生する可能性が高くなります。

環境による影響 (NURUCON の硬化が遅くなる)

- ・駐車場の高さが低い (前面の道路に対して駐車場が同じ高さ、又はあまり高くない場合)
- ・気温が低い場合、湿度が高い場合
- ・水はけが悪い地盤の場合
- ・日当たりが悪い場所
- ・施工後すぐに濡れたタイヤで駐車した

使用した生コンまたは施工による影響 (下地コンクリート表層が脆弱に仕上がっている)

- ・単位水量が多い生コンを使用した場合 (加水や防凍剤の現地投入を行った為、表層部が極端にもろい)
- ・色むらが強く出たコンクリート (色むらは水的作用を受けて出る事が多い為)
- ・シーラーの補強効果では補強しきれないほどコンクリートが脆い場合

下地コンクリート表層自体が耐えられない摩擦力を受けた場合は、必ず下地コンクリートとともに

NURUCON は剥離します。下地表層コンクリートが原因による摩擦剥離は NURUCON では止められません。

【部分補修方法】

摩擦剥離が発生した場合は、全面補修または部分補修で対応を行います。剥離した箇所が駐車した駆動輪タイヤの真下のみの場合(10 cm角程度)は、部分補修を行って経過観察を行ってください(予定施工日数:1 日)

「準備する物」

- ・濡らしたモップ又はタオル ・スクレイパー及び金ブラシ ・NURUCON
- ・NURUCON 純正シーラー(1 回の塗布量:0.2kg/m²) ・刷毛 ・容器 ・ドライヤー

- ① 剥離した周辺をスクレイパーや金ブラシ等でこすって脆弱な部分を除去後、洗浄を行いタオル等で水分を拭きとります
- ② 剥離した箇所より一回り大きな広さで、純正シーラーを刷毛で厚めに塗っていきます。
- ③ 1時間ほどシーラーを自然乾燥すると、白乳色から透明に変わります。(表面がべとつく状態)
- ④ 刷毛を使用して NURUCON を塗っていきます。この時、前回塗った NURUCON と現在塗っている NURUCON の境界面がくっきり出ないように、刷毛を使って境界面をぼやかすように塗ります。
- ⑤ 最低 3 回 NURUCON を塗ります。ドライヤーを使用して 1 層ごとしっかり乾燥させてください。
- ⑥ 1 時間ほど自然乾燥を行ってから解放してください。

【全面補修方法】

部分補修はある程度の練習(色合わせ技術)が必要になります。全面補修は前回の NURUCON 施工と同じ方法で行いますので、部分補修より時間は必要ですが、均一に仕上げる事が可能です。

- ・初回施工時に正しい施工方法で NURUCON を塗っていない場合
 - ・部分補修を行ったがまた剥離してしまった場合
 - ・NURUCON の剥離が激しい場合
 - ・他社製の製品が塗っているコンクリートの場合
- これらの場合は、全面補修を行ってください。

「準備する物」

- ・高圧洗浄機(必須)
- ・NURUCON 純正シーラー(1 回の塗布量:0.2kg/m²)
- ・NURUCON
- ・ローラーと刷毛
- ・容器

「施工上特に注意すべき点」

- ① 高圧洗浄機のノズルを可能な限りコンクリート表面に近づけて洗浄する。
- ② 純正シーラーは、計 2 回塗る事と計画し、
 - (1)コンクリートの劣化が激しい箇所
 - (2)NURUCON の剥離が多い箇所
 - (3)タイヤが止まる箇所、走る箇所の 3 箇所にのみに 1 回目は塗って、3 時間乾燥させる。
2 回目は全面塗布を行う。この時、1 回目に塗布したシーラーの上を歩かない事。
12 時間以上乾燥させてから NURUCON を塗る事。

以後は通常の NURUCON 施工と同じになります。

10. 最後に

10.1 最終確認事項

本製品は壁面での使用を推奨しております。剥離のリスクが高い土間コンクリート等の「均し面」に施工を行う場合は、特にご注意の上施工を行ってください。

本マニュアル記載の情報は 2025 年6月時点のものであり、随時内容が見直され修正される場合があります。定期的に弊社 WEB サイトをご確認ください。また、本マニュアルは、作成時における入手可能な情報より作成しておりますが、必ずしも十分ではない可能性がございますので、取り扱いにはご注意ください。記載の一切のデータや評価、施工方法に関しては、いかなる保証をなすものではありません。記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、指定された用途以外には使用しないでください。



美しく安全なコンクリートで魅力的な空間を作ろう！

清潔で美しいコンクリートで快適な生活空間を手に入れよう！

コンクリートの美しさと機能性を引き出すプロの化粧仕上げを体験しよう！

NURUCON®